

資料編

- ◇関係機関・関係団体・企業の食育取組事例
- ◇食育の推進に関する事業
- ◇平成24年川崎市の食育の現状と意識に関する調査概要
- ◇川崎市食育推進会議条例
- ◇川崎市食育推進会議・川崎市食育推進会議部会委員名簿
- ◇食育基本法

関係機関・関係団体・企業の食育取組事例

取組名

乳幼児健康診査事業

取組団体

公益社団法人 川崎市医師会

取組内容

乳幼児健康診査により乳幼児の心身の発育・発達の確認及び相談、栄養・食事等の指導、助言などを行いました。

今後も医療とともに子どもの健やかな心と身体の発達に欠かせない栄養・食事指導等、市民の健康確保に努めてまいりたいと考えています。



団体の紹介

私たちは、市民の健康づくりに貢献することを目指し、医師向けに乳幼児の食育等についての講演会等を通じ、保護者へのアドバイスができるよう努めております。

また、川崎市と共催で、定期的に市民向けに腎臓病についての講座・料理教室を開催しており、これからも医療とともに、食育による市民の健康確保に役立ちたいと考えております。

団体の連絡先

公益社団法人 川崎市医師会事務局

住所 川崎市川崎区宮前町8-3

電話 044-222-2110

FAX 044-233-8802

ホームページアドレス <http://www.kawasaki.kanagawa.med.or.jp/>

取組名

お口の健康フェア2013 ～家族そろって歯っぴーな歯～

取組団体

公益社団法人 川崎市歯科医師会

取組内容

平成25年6月9日(日)川崎地下街アゼリアにおいて「お口の健康フェア2013」を開催致しました。この催しは川崎市との共催で昭和56年から始まり今回で33回と歴史を重ねてきました。本年は来場者12,737名と大変多くの市民の皆さまにご参加をいただきました。

メインステージでのよい歯のコンクール表彰式、栄養士会による紙芝居、災害時のお口のケア指導、歯科大学教授のお話し、歯科衛生士を目指す学生さんによる紙芝居など、盛りだくさんのプログラムに加えて、会場内での歯科医師による「お口の健康相談」ほか、体験コーナー、展示コーナー、ゲームにクイズ、「歯医者さん体験」や歯の衛生に関する図画・ポスター展示も人気を博していました。

このイベントにより市民の皆さまが、ご自分の歯とお口の健康を楽しみながら学ぶ場として継続するよう、今後とも様々な趣向を凝らして実施してまいります。

開催にあたっては、川崎市及び川崎市教育委員会をはじめ9つの機関・団体の協力及び30の企業の協賛をいただきました。



団体の紹介

川崎市歯科医師会(532会員)は、市民の皆様の歯科保健・歯科医療・福祉の向上を目的に活動しています。生涯にわたる口腔の健康保持を通して食育を推進し、食を楽しむ生活の質を保てる健康づくりに取り組んでいます。お口の健康フェアの開催やリーフレット配布、かわさきエフエムの番組等々、広く情報提供を実施しています。企業・事業所等への出張セミナーも行っています。お口の健康は食育のよい導入モデルになるので、ぜひ当会にご相談下さい。

団体の連絡先

公益社団法人 川崎市歯科医師会事務局

住所 〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-10-10

電話 044-233-4494

FAX 044-222-3924

メールアドレス jimukyoku@kawashi.or.jp

ホームページアドレス <http://www.kawashi.or.jp>

取組名

健康づくりはお口から(食生活等生活習慣病予防)

取組団体

公益社団法人 川崎市看護協会

取組内容

●看護フェスタinかわさき2013

- ・実施時期:平成25年5月18日(土)
- ・対象:市民
- ・会場:川崎駅地下街「アゼリア」
- ・内容: まちの保健室・相談コーナでは生活習慣病予防のための食生活の見直し、バランス食、生活リズム、朝食摂取等の保健指導

●両親学級(プレパパ・プレママ教室)

- ・実施時期:毎月1回(土)
- ・対象:妊婦とプレパパ(夫)
- ・会場:川崎市ナーシングセンター
- ・内容:妊娠を機に食生活の見直し、バランス食、元気な赤ちゃんを産み育てるための食事・禁煙等



●子育て「ほっとステーション」

- ・実施時期:毎月1回
- ・対象:生後2か月から4か月児と主に母親
- ・会場:川崎市ナーシングセンター
- ・内容:親子のよりよい健康生活の実現のため相談、グループワーク
乳児からの食生活の大切さ、子育てを機に親の食生活、生活リズムの見直し等

●まちの保健室、健康教室

- ・実施時期:通年
- ・対象:市民等
- ・会場:川崎市ナーシングセンター、地域
- ・内容:健康相談、介護予防、健康づくり等保健・医療・看護・介護

団体の紹介

保健師・助産師・看護師の職能団体として、赤ちゃんから高齢者までの市民の健康生活の実現に向けて、より健康に、疾病予防、健康回復、介護予防、リハビリ等ライフスタイルに合わせて食生活、禁煙、運動、休養・ストレス等の保健指導を行っています。

食育関係については、通年で「まちの保健室」「出前健康教室」「両親学級」また、「看護フェスタ」、子育て支援「ほっとステーション」、子育て自主グループ等で保健指導の一環として実施しています。

団体の連絡先

公益社団法人 川崎市看護協会

住所 川崎市中原区今井上町34番地 和田ビル3階

電話 044-711-3995

FAX 044-711-5103

取組名

サンピアン川崎の食育講演会、親子クッキング教室(NPO) 川崎区いきいき提案事業、その他川崎市、各区事業に協力

取組団体

川崎市栄養士会

取組内容

- サンピアン川崎での市民向け食育講演会を平成25年度は3回実施(平成21年から継続実施)
 - ・第1回(9月29日(日))「生きることは食べること!」
 - ・第2回(10月6日(日))「気になる中性脂肪～改善のヒント!」
 - ・第3回(10月20日(日))「高齢期の栄養管理から学ぶ長生きの秘訣!」それぞれ専門分野で活躍している管理栄養士が講演を行いました。
- 親子クッキング教室(NPO全国中高連川崎市地域学校施設管理協会)
 - 【夏の低学年向け】
 - ・食育テーマ「夏休みを元気に過ごそう!」
 - ・メニュー(変わりお焼きカレー味、野菜たっぷりスープ、ウイングスティックのオレンジジュース煮、フルーツのヨーグルトソースかけ)
 - 【冬の高学年向け】
 - ・食育テーマ「おもてなしの心で手作りパーティ!」
 - ・メニュー(デコレーションケーキ寿司、お吸い物、野菜の肉巻きロール、楽しいデザート)共にNPOが管理している土橋小学校調理室と生田特別創作活動センター調理室で近隣の小学校4～5校の児童と保護者を対象に実施しました。(平成19年から継続実施)

団体の紹介

昭和48年から(社)神奈川県栄養士会川崎支部として「健康都市川崎」を目指し、健康づくりや食育に関する活動を続けてきました。平成25年4月に県栄養士会が公益社団法人となり、川崎市内の活動をより充実させるために川崎市栄養士会を設立し、今まで以上に市民に向けた活動を継続し実施していくことを考えています。

川崎市および各区の健康づくりイベントに参加し、食事相談、栄養相談の活動やNPOと共催で『食育』を中心にした親子クッキング教室の継続実施、サンピアン川崎の講演会の講師、区による食育や健康に関する事業への参画など、全会員の専門職としての力を合わせて、全市民の健康を願って活動しています。

会員は栄養士として病院、保育園、学校、老人ホーム、福祉施設、会社企業、行政などで管理栄養士、栄養士として仕事をしている方や地域で住民の健康づくり活動をしている方など川崎市内の約300名の全会員で活動を行っています。

団体の連絡先

川崎市栄養士会

住所 横浜市中区住吉町2-21-605

電話 045-201-8568

FAX 同上

メールアドレス zenkokutoshikyo@ymail.plala.or.jp

取組名

学び考え楽しむ食育への取組

取組団体

公益社団法人 川崎市幼稚園協会

取組内容

- 川崎市幼稚園協会加盟園の教職員を対象に年間2回、「食育」を題材に研修会を開催しています。食育を学び考え、園児と共に楽しみながら取り組める方法を模索しています。
- 川崎市幼稚園協会と父母の会連合会の共催で、川崎市の子育て真っ最中の父母を対象に、年間1回程度の「食育」を題材とした「子育てセミナー」を開催予定です。
- 加盟園対応として、「野菜作り」「お米作り」「果物作り」など栽培から食育に繋がったり、「食育だよ」などの配布物、栄養士さんのお話を聴く時間を設けたり、絵本・紙芝居を使用し食育を楽しみながら学んでいます。

団体の紹介

当協会は市内にある私立幼稚園86園全園が加盟し、総園児数23,000名程、総教職員数1,500名程の団体です。「食育」への取組は各園様々ではありますが、対象が幼児ということもあり、栽培から食に繋がったり、絵本や紙芝居から食の大切さを伝えたり、分かりやすいことを第一に実践しています。協会としては研修の一部に「食育」を組み込み、教職員の資質向上に努め、また保護者向けのセミナー等も行い、家庭力の向上も目指しています。

団体の連絡先

公益社団法人 川崎市幼稚園協会

住所 川崎市中原区小杉町3-2-1 ダイアパレス武蔵小杉311

電話 044-711-8383

FAX 044-733-5000

メールアドレス youchien@maple.ocn.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.youchien.org/>

取組名

親子教室

取組団体

多摩区 食品衛生協会

取組内容

【実施日】

平成25年8月21日

【実施場所】

多摩区役所保健福祉センター栄養室

【対象】

小学生以下の子供とその親

【目的】

- ・夏休み中に夏野菜について知る機会をもってもらう
- ・野菜嫌いや野菜が食べられない子供に工夫したメニューを作り野菜を食べられるようにする
- ・参加者全員で、一緒に料理を食べるという機会をもつ

【実施メニュー】

- ・野菜たっぷり餃子
- ・トマトスープ

団体の紹介

多摩区内で食品営業を営む事業者で構成する団体で、地域の食品衛生の向上のため様々な事業を行っています。

昭和39年9月に川崎市食品衛生協会稲田支部として設立し、現会員数は534名です。

団体の連絡先

多摩区食品衛生協会

住所 川崎市多摩区登戸2471-2A

電話 044-911-9604

FAX 044-911-6365

取組名

農業体験を通した食育

取組団体

J A セレサ川崎農業協同組合

取組内容

●「高津養護学校生田東分教室 ～農業体験教室～」

平成24年5月～平成25年3月 県立高津養護学校生田東分教室

県立高津養護学校生田東分教室の生徒たちが当JAの指導の下、麻生区黒川で年間を通した農業体験教室を行っています。ジャガイモ・サツマイモ・タマネギなど、土作りから収穫まで一連の作業を行いながら農業の大切さ、大変さを理解したほか、収穫の喜びを感じる体験を継続的に続けていきました。

対象：高津養護学校生田東分教室 2学年/15名(男子9名 女子6名)

場所：麻生区黒川圃場

●「集まれセレサキッズGoGo!田植えレンジャー(アグリスクール)」

平成24年6月～12月 親子

麻生区黒川の田んぼにて、アグリスクールとして小学生親子が稲作体験を実施、田植えや稲刈りはもちろんのこと、8月には生育状況の観察、稲刈り後は脱穀や収穫祭を行うなど、参加者たちは真剣にお米と向き合いました。

全5回、約半年にわたる長期間の活動となった今回の食農体験。子供はもちろん大人も楽しみながら熱心に取り組み、大変充実した時間を過ごすことができました。

- ・第1回：6月 田植え体験・第2回：8月 生育状況確認
- ・第3回：10月 稲刈り・第4回：11月 脱穀
- ・第5回：12月 収穫祭



団体の紹介

セレサ川崎農業協同組合

J A セレサ川崎では、平成20年度に策定した食農教育プランを基に、食農教育活動を展開しています。組合員組織や行政等と連携し農業体験学習や地場産野菜を使った料理講習会等の開催をとおして、食本来のおいしさ、生産過程さらには生産者の思いやこだわり、食文化でもある伝統食の継承など、安全・安心な農畜産物の提供を促進するだけでなく、食と農の大切さを伝える責任を果たすことを使命とした食農教育に積極的に取り組んでいます。

団体の連絡先

J A セレサ川崎 本店 指導相談部 都市農業振興課

住所 〒216-0033 川崎市宮前区宮崎2-13-38

電話 044-877-2509

FAX 044-877-6497

ホームページ http://www.jaceresa.or.jp/05_agri/05_agri_04.htm

(24年度のJ A セレサ川崎食農教育実施内容を掲載しています)

取組名

食育研修の支援

取組団体

東京ガス(株) 川崎支店

取組内容

平成19年度より、川崎市教育委員会総合教育センターカリキュラムセンターの依頼により、市内全校の教職員対象に食育研修を行っています。

東京ガスでは、昨年度まで行っていた「エコ・クッキング」と「食育」の要素を融合させ、25年度からは「環境に配慮した食の取組」として実施しています。

「食育」に関する講話は先生方からもご要望が多く、エコ・クッキングについても学んでいただける効果的な研修会です。

なお、平成25年は全国私立小学校の教諭対象の研修としてもこのプログラムを実施いたしました。

団体の紹介

私たち東京ガスは、炎の調理を通じて食育推進活動を行っています。

学校や自治体で児童に食育を指導する職員、栄養士等の指導者の方を対象に食育セミナーを開催したり、また地域のお客様を対象に環境に配慮した食生活のご提案「エコ・クッキング」や、子ども料理教室「キッズインザキッチン」等、調理に関する様々な講座を開催しています。

団体の連絡先

東京ガス(株)川崎支店

住所 川崎市川崎区小川町6-1

電話 044-211-7212

FAX 044-211-7138

ホームページアドレス <http://www.tokyo-gas.co.jp>

取組名

「私たちの健康は私たちの手で」各種料理教室

取組団体

川崎市食生活改善推進員連絡協議会

取組内容

幼児から高齢者各世代への食育事業

●親子の食育教室

保育園、幼稚園及び小学生とその保護者120人を対象に食育で身につく「5つの力」の講話と作る楽しさ、食べる大切さを伝える料理実習を実施しています。

●団塊の世代を対象に男性のための料理教室

単身になった際、慌てることのないように「生きていくための20品目」をテーマに料理講習会

●よい食生活をすすめるためのグループ講習会(平成25年度から生涯骨太クッキングと改名)

運動機能低下(ロコモティブシンドローム)が高齢化社会の中で注意すべき国民病と示されました。調理実習により「カルシウム不足」の改善を目指し正しい食事バランスと食習慣を身につけることを目的にロコモチェックとトレーニングにより健康寿命の延伸を推進します。

●低栄養予防・介護食講座

自宅でできる正しい低栄養予防の進め方や在宅介護について調理体験を通して自立できるよう支援する目的で実施しています。



●生活習慣病の予防

- ・メタボ予防教室 各区30人を対象に20回実施
- ・体重1Kg・減塩1g声かけ国民運動の展開 リーフレットを配布し、家族全員で認識してもらうよう働きかけます。
- ・健康づくりにかかわる者等の増加を図るため、「地域を繋ぐ・世代を繋ぐ」をテーマに「TUNAGU(繋ぐ)リーダー講習会」を開催します。
- ・地域の家庭を対象に味噌汁の塩分チェックと野菜のワンプレートの必要性の普及に努めます。

●食育の日のPR

- ・毎月19日は食育の日キャンペーン

団体の紹介

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに子どもから高齢者まですべての世代を対象に「食」を通して、健康づくりに取り組み、食育を推進している全国組織のボランティア団体です。料理教室や講習会を開催し、情報提供をしています。地域で食に関する講習会や料理教室等に講師を派遣することができます。

団体の連絡先

川崎市健康福祉局健康安全部健康増進課

住所 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2451

FAX 044-200-3986

生活習慣改善事業

川崎市PTA連絡協議会

●「食育推進コンテスト」の実施

行政・企業・関係機関と連携して、市内在住の小中高特別支援学校生（公私立含む）、PTA会員を対象としてお弁当による「食育推進コンテスト」を開催。（教育委員会・学校給食会・スポーツ協会・J A セレサ川崎・味の素・東京ガスに後援・協賛）



■食育推進コンテスト（教育委員会賞）受賞作品

●ホームページへ「食育推進コンテスト」受賞作品の掲載

●「お子様の生活についてのアンケート」実施

市教委・小学校・中学校の校長会協力のもと、小中学校保護者を対象に実施。小学生から中学生に成長した子どもたちの日常生活の傾向を比較し、課題を検討。

●市PTA広報紙での啓発（全市家庭10万部発行）

さまざまな分野から、生活習慣・食育に関する特集を掲載。

●「生活習慣改善事業」に連動した会員研修・家庭教育学級を開催

家庭で食育の参考になるような講演会の開催（各1/年）。年間を通して啓発をおこなうことで、会員の皆さんに、生活習慣に関心を持つ機会を継続的に提供することができた。今後は教育委員会や学校との連携など、学校教育と本事業の相乗効果による保護者への啓発を考えていきたい。



■（平成23年度実施）小学5年生保護者対象「お子様の生活についてのアンケート」より

本会は、川崎市立の小学校・中学校・特別支援学校・高等学校PTAで組織する団体です。子どもたちの豊かな育ちのために生活習慣を考えた食育推進を、行政や企業と連携しながら実施しています。広報紙による啓発や、講演会、子ども・保護者・学校を対象としたお弁当のコンテストなどを開催し、楽しくより身近に食の大切さを感じてもらえるよう活動しています。

川崎市PTA連絡協議会
住所 川崎市川崎区富士見2-1-3川崎市教育文化会館4階
電話 044-210-0072
メールアドレス bca01205@nifty.com
ホームページアドレス <http://www.pta-kawasaki.jp/>

取組名

「安全で健康な暮らしを守る」「資源とリサイクルを考える」

取組団体

川崎市 消費者の会

取組内容

- 地産地消の推奨及び実践をテーマに活動しています。
- 地域の農産物をすすんで購入し、年2回、市民館料理室を利用して会員を対象に実施しています。夏野菜(7月)・冬野菜(2月)
- 地場産の野菜の紹介を掲載した「消費者だより」を年6回発行し、消費生活展、川崎ボランティア市民活動フェア、かわさき市民まつりなどのイベントで一般住民の方に啓発活動を行っています。



団体の紹介

消費者問題に関心の深い会員から構成されています。

「安全で健康な暮らしを守る」「資源とリサイクルを考える」を目標に、身近な問題を取り上げ講演会、学習会等を通して正しい認識と判断ができるよう学習しています。

安全な食生活を営む上で「地産地消」を活動の一環とし、地域の農産物を進んで購入し、地場産を使った料理教室を開催するなど、地域の農業・農産物を応援するとともに、地域農業への理解を図っています。

団体の連絡先

川崎市 消費者の会

住所 川崎市多摩区生田6-5-8

電話 044-954-4570

FAX 044-954-4570

取組名

かながわサイエンスサマー

取組団体

味の素(株)

取組内容

夏休み期間中に、子どもたちが科学に親しむ機会の提供として第13回かながわサイエンスサマー(味覚教室+工場見学)を神奈川県と協同で開催しました。平成25年度は、例年ご応募が多いことを踏まえ、より多くの方々に参加頂くため、対象を中・高学年、各回50名(去年は小・中・高学年。各回25名)と変更したことにより、796名のご応募をいただき、抽選にて302名の当選者を選出、当日参加271名と多くの子どもの参加にて開催することができました。



団体の紹介

1908年、日本の化学者の池田菊苗博士は昆布だしの成分であるアミノ酸「グルタミン酸」がおいしさのもとであることを世界で初めて発見、「うま味」と名付けました。

そして1909年、それをうま味調味料として世の中に送り出したのが当社の始まりです。

当社の食育プログラム「味覚教室」は、主に小学生を対象に、社員が学校に伺い、「おいしさ」や「味を感じるしくみ」、和食を支える「だし」、「うま味」について、体験を交えて楽しく学んで頂けます。

団体の連絡先

味の素(株)味覚教室窓口

電話 0120-12-8855

ホームページアドレス <http://www.mikakukyoushitsu.ajinomoto.co.jp>

取組名

(株)明治・神奈川・食育をすすめる会企画「チョコベジ」 子どもたちがもっと野菜を食べる未来へ

取組団体

神奈川・食育をすすめる会

取組内容

●売場でチョコベジ体験

野菜に溶かしたチョコレートをつけて食べる「チョコベジ」を実施。「チョコと一緒に苦手な野菜もおいしい!」と野菜嫌いなお子様に、野菜のおいしさを感じてもらえました。



●神奈川県産野菜をもっと楽しむ!

収穫 & チョコベジ体験ツアー

3月27日開催 親子29組58名参加

神奈川野菜の収穫やチョコベジを体験、おいしさを感じていただくツアーです。神奈川県内の農家でブロッコリーを収穫、県内産野菜のチョコベジ体験、野菜クイズ大会を開催し、親子で楽しく参加し、野菜に親しみと関心を持っていただきました。



～お客様の声～

- ★「初めは野菜にチョコ!?とびっくりしたが、食べてみるとおいしかった♪」
- ★「子どもがチョコと一緒に、苦手な野菜を食べている姿を見て、食育にとっても良いと思った。」
- ★「イメージしているより美味しかった。トマトやにんじんの甘味とチョコが合う!」



団体の紹介

神奈川・食育をすすめる会は、地元神奈川県を基盤にスーパーマーケットを展開する、生活協同組合ユーコープ・相鉄ローゼン(株)・富士シティオ(株)の小売3社と食品卸業者、食品メーカーが協働し、売場を中心に食育をすすめています。

競合関係である小売3社ですが、地域のお客様に毎日の「食」を提供する者として売場から「食の情報」を発信し、地域のお役に立てるよう手を携えて「食育」に取り組んでいます。

団体の連絡先

神奈川・食育をすすめる会

住所 横浜市港北区新横浜2-5-11(生活協同組合ユーコープCSR・政策推進室気付)

電話 045-473-2019

FAX 045-475-1137

メールアドレス Noriko.Hosoda@ucoop.or.jp